

# 山行報告書

報告書作成

2014年4月26日

山名 [山域]	中ノ尾根山(2296m)南アルプス深南部	目的と方法	読図山行
登山期間	2014年3月22日(土)~23日(日)	山行形態	テント泊又は小屋泊
参加人数	3名		

## 行動記録

3月22日

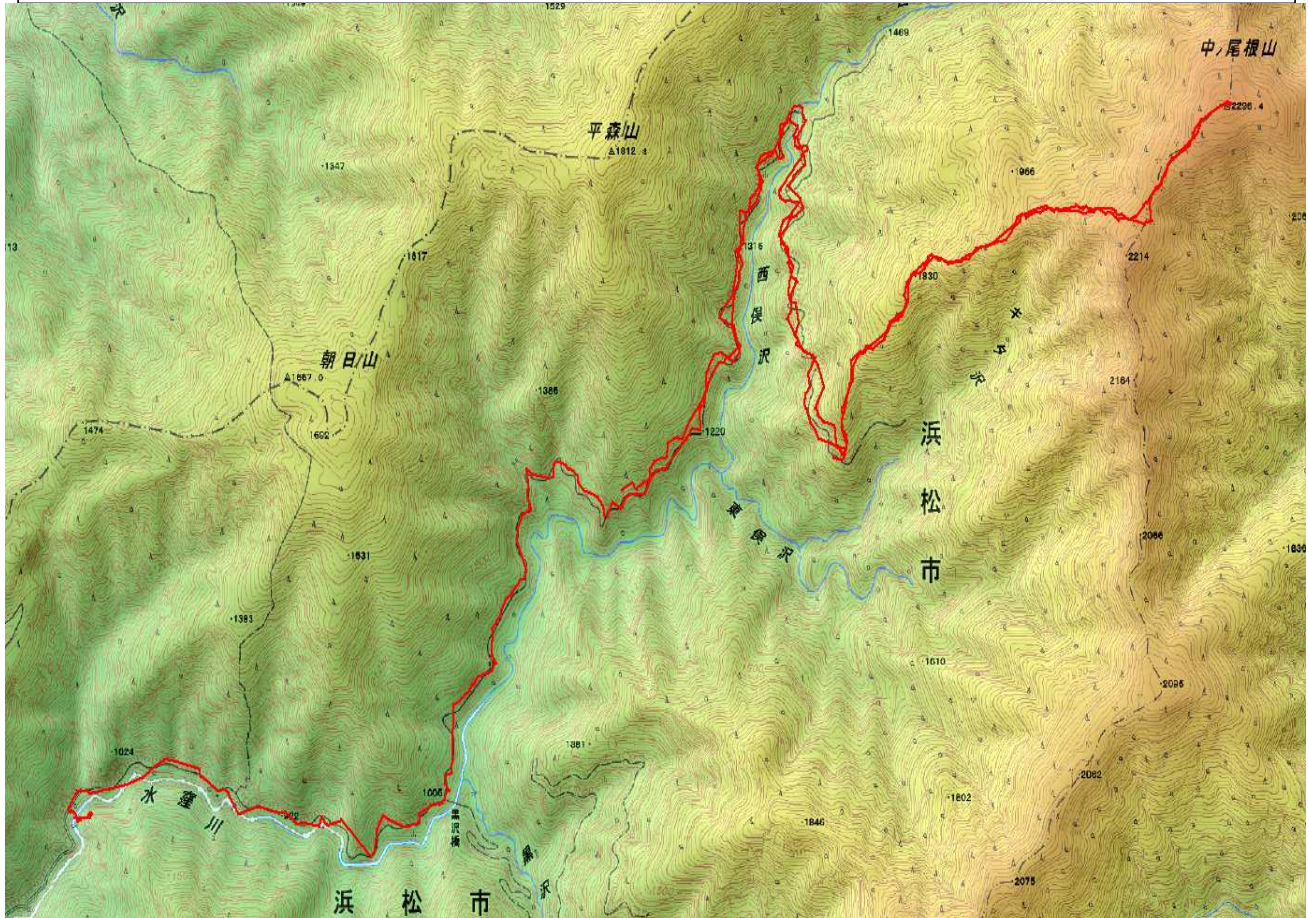
岡崎IC810=浜松北IC925=ゲート(権現橋)1120・1150~黒沢橋1230~林班休憩所1445(泊)

3月23日

林班休憩所(登山口)705~1830m805~2214m稜線950~中ノ尾根山1010・40~2214m稜線1050~1830m1140~林班休憩所1220・50~黒沢橋1435~ゲート(権現橋)1525・40=豊川IC201

○=岡崎2100

## 概念図



## 日誌

初期の予定は1日目は中ノ尾根山まで登りテント泊予定で有ったが出発がメンバーの仕事の都合で1時間遅くなった為、2日目の合地山を諦め、中ノ尾根山までに変更しました。まず林道をゲート(標高870m)の手前まで車で入り、そこから林業用のストーブ付きの休憩所(標高1500m)まで9キロ3時間40分標高差630mの林道歩きです。小屋に着いたのは14:45分、そこから中ノ尾根山まではまだ3時間程かかるので、初日は休憩所で泊まることにしました。休憩所には薪も置いてあり有りがたく使わせて頂きました。3人で寝るのに丁度よいスペースでした。2日目は小屋を出発して山頂経由ふもとのゲートまで15キロ8時間20分標高差1430mの行程です。小屋を出発して30分程登った1650m辺りでアイゼンを装着しました。中ノ尾根山から南西に延びる稜線の2214mのピーク手前からは御嶽山・中央アルプスの眺めが素晴らしく、稜線に着くと富士山が出迎えてくれました。中ノ尾根山山頂の少し先からは光岳・真っ白な聖岳が見えました。天候も申し分なく合地山まで行きたかったが次回のお楽しみと言うことで引き返しました。帰り道山火事の消火活動に因る通行止めや新東名の自然渋滞で帰宅時間が遅くなりました。水は休憩所手前で汲めます。林道全般に落石が多く見受けられました。

## 感想

山行中他の登山者は一人もおらず天気も良く南アルプス深南部を一人占めでした。今後も折を見てひき続き深南部を雪の有る時期に攻めようかと思います。尚、入山に当たり事前に水窪森林事務所へ入林届の提出が必要です。